

# 工房ストローの手仕事

伝統文化の手わざを受け継ぎ、現代風にアレンジされた藁細工



卵つと



卵つとミニ



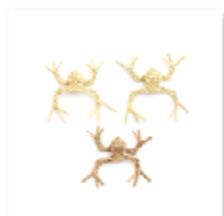
ミニわらぐつ



うま



いぬ



かえる



編み鷹の爪



編み南蛮



魔除け稲穂南蛮



ボトルケース(ワイン用)



ボトルケース(一升瓶用)



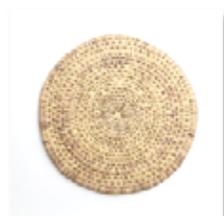
鍋敷き



わらほうき



わらほうきミニ



円座



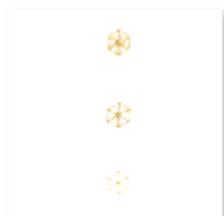
蛸かご  
ハンギングタイプ



蛸かご  
スタンドタイプ



光のオーナメント



雪の結晶オーナメント



しおり

Photo by Kohei Shikama

商品は工房ストローのホームページ (<http://kobo-straw.com>) にアクセスのうえ、オンラインショップからの購入が可能です。商品や活動に関するお問い合わせは、メールアドレス [info@kobo-straw.com](mailto:info@kobo-straw.com) まで。

## 「藁細工 SAKICHIL」 の名称由来

高橋さんたち、サキチルメンバーが藁の加工技術を学んだ事業で、メイン講師を務めていた方が伊藤佐吉(イトウ サキチ)さんであったことになみ、「サキチ チルドレン」を略して、SAKICHIL(サキチル)に決定。

## 工房ストローからのお知らせ

工房ストローでは、藁細工の素晴らしさや楽しさを多くの方に知ってもらうため、以下の「ワークショップ」を開催しています。

工房ストローによる藁細工ワークショップ (不定期開催)

工房ストローの藁細工教室 (月例開催)

藁細工づくりを体験してみたい方は是非ご参加下さい。

詳しい内容や参加申込方法等については、インターネットにてご確認ください。

伝承野菜農家 森の家 ホームページ <http://www.morinoie.com>

とんがりビルホームページ <http://www.tongari-bldg.com>

# 「地域の宝」 伝統文化と藁細工のぬくもりを未来へ 工房ストロー



な  
真室川町なう。ワラ絢う

山形県北部の農村地帯、

最上地方に古くから受け継がれてきた伝統文化の一つである藁細工。近年では、需要の低迷や人材、後継者不足等により衰退の一途をたどりつつある。真室川町の農家に生まれ藁のある環境で育った高橋さん（写真）は、平成25年から3年間、

最上地域雇用創造推進協議

会が実施する実践型地域雇用創造事業において、藁の加工技術等を学び、この時、事業に参加していたメンバー達と「藁細工S&DHI」を立ち上げ、事業終了後も独自の相互研修活動や藁加工技術の普及・継承活動に取り組んできた。高橋さんは、これらの経験や技術を活かし、「現代の生活にあつた藁細工の商品開発と流通の確立を図り、地域の新たな産業に繋げたい」という想いから、平成28年4月に「工房ストロー」を立ち上げた。

今後も「藁細工S&DHI」のメンバー達と連携しながら活動を継続するとともに、「山形県元気な女性・若者ビジネス応援事業」を活用し、伝統文化「藁細工」の実用商品の開発と販路開拓に向けた取組みを進める。



天然色の美しさが藁細工を彩る

藁細工用に10種類の古代米を栽培



工房ストロー 代表 たかはし しんいち 高橋 伸一さん（40歳）

真室川町平岡 在住

平成28年3月まで真室川町役場の職員として勤務し、家業である農業を継ぐため退職。

退職後は専業農家として、米づくりや伝承野菜の栽培・加工などに取り組むとともに、工房ストローを立ち上げ、地域資源である藁を活用した藁細工の技術継承活動や商品開発に取り組んでいる。